

CONTENTS

- 町の掲示板 2
- 町の話 12
- know「農」 14
- カルチャー 15
- 町の情報ひろば 16
- 素敵人 18
- こうげマンが行く! 18

http://www.town.koge.lg.jp



町の花(春)桜
町の花(秋)コスモス
町の木 梅

●編集発行/上毛町役場企画情報課
●印刷/第印刷株式会社
〒871-0992
福岡県築上郡上毛町大字垂水1-3-21-1
TEL 0979-723-1111
FAX 0979-723-6664

人の動き

3月31日現在

- 世帯数 3,131 (+0)
- 男性 3,741 (-1)
- 女性 4,191 (-11)
- 人口 7,932 (-12)
- 65歳以上 2,541 (+3) 32.0%
- 75歳以上 1,405 (+0) 17.7%

うち外国人

- 人口 28(+3)
- 男性 19(+0)
- 女性 9(+3)
- 世帯数 25(+3) (うち混合世帯4)

参考

- 平成17年10月11日
合併時
- 人口 8,499
 - 世帯数 3,057

ごみの量

3月31日現在

- 可燃ごみ 136.96t (+27.69t)
- カンベツポトル 2.35t (+0.27t)
- びん 4.49t (+1.61t)
- 古紙他 17.73t (+7.84t)
- 可燃粗大 4.98t (+1.74t)
- 不燃 6.25t (+0.14t)
- プラスチック製容器包装 1.72t (-0.26t)
- 紙パック、白色トレイ 0.06t (+0.02t)

※()内は前月増減

環境対応型植物油インキを使用しております。



松会保存会 谷中 義信さん

松会保存会員として福岡県指定無形民俗文化財「松尾山のお田植祭」の保存継承活動をしています。40年程前、青年団活動で演舞したことがきっかけとなり、先輩に誘われて保存会のメンバーになりました。地元に住む以上、何らかの形で地域に貢献することができればと考えていたので、迷いなく入会しました。入会当時は多くの先輩や後輩たちと数々のイベントに参加することができました。また、イベント先では他の参加団体の郷土芸能を継承する人たちと交流を図ることができました。

近年の活動は昔に比べ会員数がかかなり少なくなりました。若い頃は一つの演目を一生懸命何回も何回も練習して、他の会員より上手くならなければ出演することができなかったのですが、今では会員が少なくなり、各々の会員がすべての演目を演舞することができるように努めなければならない時期にきています。

4月の祭りやイベント出演前の練習では、日頃会うことができない会員とコミュニケーションを図ることができるのでいつも楽しみにしています。

今後は、お田植祭への集客の増加を目指すために創意工夫が必要だと感じています。お田植祭は修験道場最大の祭りであった「松会」の一部が残ったものです。これまで継承されてきた田行事である「お田植祭」を伝えるだけでなく、往時の松会行事に近づくことができるよう、演目を増やすことも一つの方法だと思います。平成18年からは、これまで継承されてきた田行事に加え、鉞舞や長刀舞とよばれる刀行事や獅子舞を復元してきました。

一方、会員数の減少は深刻で、会員が少なければ演目を増やすこともできません。会員を増やすためには、より広い地域から募集することも検討しなければならない時期にきていると感じています。

今後、国民文化祭や民俗芸能大会などの対外的なイベントにも積極的に出演する機会をつくり、上毛町に残る伝統芸能を多くの人に知ってもらえるように努めたいと考えています。



能面師 松本 二三年さん

20代後半に神楽面を彫り始めたので、面を彫る仕事は40年程続いています。自分が神楽を舞っていたので、自ら作った面を付けて神楽を舞ってみたいと思い彫り始めました。厳つい表情の鬼面ばかり彫り続けている時、優しい表情をした小面の能面に出会いました。気持ち次第に表情豊かな能面の製作へと移り、京都市に住む能面師の元へ入門し、10年を超える年月の間、師匠の元に通い続けて技術を習得しました。

福岡県は神楽が盛んな地域なので、仕事の多くは神楽面に関係する仕事です。面は彫るだけでなく、損傷した古い面の修理も受けています。

松会保存会との出会いは、平成21年の火王面・水王面の製作からです。火王・水王面は神幸行列で神輿の先頭に立つ二本の鉦の上部に付けられ、神を守護し、先導する役割を担う面です。この時、最も意識したのは「存在感」、水王面の語りかけてくるような肉感の表現に一番苦しみました。

通常、神楽面は漆を10回程度重ね塗りますが、顔料を混ぜた色漆を塗っては乾かす作業を約一ヶ月間続けて、倍の20回以上繰り返しました。

その後も平成22年には大人用の獅子頭の製作、平成25年には子ども用の獅子頭の製作を依頼されました。これまでに火王面と水王面を各一面、大人用と子ども用の獅子頭各一对を保存会へ奉納しました。

面を彫る作業はすべて勉強です。日々勉強をしながら仕事を続けています。そして、完成の喜びや製作した面を使ってもらえる喜びを感じることができます。

京築地域は神楽の文化です。今後も神楽面を製作して、多くの人々がその面を付けて神楽を舞い続けて欲しいと願っています。



火王面

水王面



「松尾山のお田植祭」
保存継承活動を地域で尽力されているお二人を紹介いたします。

松尾山お田植祭

4月20日(日)、天下泰平と五穀豊穡を予祝する松会行事のひとつ、お田植祭が行われました。この日は、降雨のため、「ゆいきらら」講堂で行われましたが、150人を超える見物客で賑わいました。

今年は、子どもたちへお田植祭の伝統が継承されていくことを祈って、松本二三年さん(東上)から子ども用の獅子頭の奉納があり、友枝小学校6年生児童によって披露されました。

このお田植祭は、保存会の方々をはじめ、多くの人びとに支えられ、現在まで継承されています。

詳しくは、2、3ページをご覧ください。

こうげマンが行く! 九州自然歩道

雁股山～大平山



イラスト/絵本製作委員会 東みどりさん

山の緑が美しい季節になったね。こうげマンは九州自然歩道に行ってきたよ。九州自然歩道は各県の自然公園を經由して九州を一周する歩道なんだよ。北九州の皿倉山から佐賀・長崎・熊本を通る西ルートと、大分・宮崎を通る東ルートがあつて、どっちも鹿児島までつながっているんだよ。一周2,097kmもあるんだって。西友枝の雁股山から東上の大平山まで約10kmのコース

は、上毛町の屋根で、九州自然歩道の福岡県の東ゴール地になっているんだよ。耶馬日田英彦山国定公園のなかにあつて、季節の草花の観察や野鳥のさえずりも聞く事ができたよ。歩道は整備されて歩きやすくなっているのみんなも森林浴をかねて行ってみてね。



巢雁山 459m

大平山 597.4m